

	<p>造形実習 Exercises in Plastic Arts</p>
--	---

教員名	岩野勝人 (いわの まさひと) [非常勤]、飯田 匡 (いいだ ただす)							
教員連絡先 (研究室所在地・TEL)	吹田キャンパス S1 棟 8 階 812 室 電話:06-6879-7649							
E-MAIL アドレス	iida@arch.eng.osaka-u.ac.jp							
履修対象	建築工学コース (2 年次)							
単位	1	セメスター				4		
受講条件	特になし							
授業の教育目的・目標 他科目との関連	建築設計に求められる基本的な造形感覚の確認と養成からスタートし、実制作を通じたイメージの構築、発展、具現化の手法を学ぶ。							
学習・教育目標	A	B	C	D	E	F	G	H
		○						◎
授業計画・概要	テーマ	概要					学習・教育目標	
	オリエンテーション (1 回)	授業概要の説明とディスカッション (包括 1 回)					B	
	立体構成 (3 回)	任意の幾何形体を制作、組み合わせることによる基本的構成力の確認と養成 (1~2 課題)。(包括 3 回)					B H	
	イメージ構成 I (4 回)	単一素材を用いて各自のイメージを造形、表現する。素材の持つ特徴を十分踏まえたうえでその特徴を活かし、イメージと素材性の調和点を探し、イメージを発展させ具現化していく。(包括 4 回)					B H	
	イメージ構成 II (4 回)	複数素材を用いて各自のイメージを造形、表現する。線材、面材、塊材等をミックスして使用することで、よい自由な表現方法と可能性を探る。(包括 4 回)					B H	
	想定描写 (2 回)	各自のイメージを頭の中でより鮮明にし、実際に創れるであろう立体作品 (3D) を平面 (2D) の世界で表現する。(包括 2 回)					B H	
	講評 (1 回)	各課題作品に対する総括とディスカッション (包括 1 回)					B	
教科書	特になし。							
参考図書・文献等	特になし。							
成績評価方法・評価基準	Bについては、各課題制作中のディスカッションと課題発表で評価する (50%)。Hについては、出席態度と提出作品で評価する (50%)。総点で 60 点以上を合格とする。							
オフィスアワー	随時 e-mail にて対応							
コメント	主体性を持った授業への参加を望む。							